

(科目コード : 7000320005EE)

【改訂】第26版(2015-02-26)

【科目】英語B

【科目分類】一般科目 【選択・必修の別】必修

【学期・単位数】通年・2単位

【対象学科・専攻】電子メディア 5年

【担当教員】前期：伊藤 文彦

後期：伊藤 文彦

【授業目標】

初步的な英語で自己の考えを表現することができる

英文パラグラフの型を理解できる

単文(simple sentence), 重文(compound sentence), 複文(complex sentence)を理解できる

初步的なTOEIC対策用英文法を理解できる

【教育方針・授業概要】

本科目の総授業時間数は45時間である。

TOEICにおける英文法を学習しながら、アカデミックエッセイの基礎を培えるように指導する。

【教科書・教材・参考書等】

教科書：英語モードが身につくライティング：大井恭子・伊藤文彦：研究社：978-4-327-42187-8

【授業形式・視聴覚・機器等の活用】

座学。適宜、視聴覚機器を使用する予定。

【メッセージ】

英語は私たちにとって外国語ですから、その理解のためには私たちは自分の母語である日本語の枠組みを基にしようとします。それは当然なことで、非難されるべきことではありません。英語も日本語同様、主語、述語という文の構成要素があり、名詞、動詞、形容詞という品詞があります。ですから、そのような手がかりをもとに新たな言語である英語を理解し、身につけようとするのは、母語を確立した学習者の一般的な学習の仕方です。しかしながら、所詮英語と日本語は異なる言語です。あまりにも母語の枠組みにとらわれて母語と同じ発想で英語も整理しようすると、「英語らしからぬ英文」になってしまいます。

使用テキストは、特に日本語と英語との間に焦点を当て、日本人英語学習者にとって盲点・急所と思われるところをクローズアップしてあります。

最後に、High English proficiency will be yours by virtue of daily continuous practice. 日々の学習を大切にしてほしいと思っています。

【事前に行う準備学習】

教科書内の問題を自分で解答する

【成績評価方法】

[前期]中間試験：20%, 期末試験：20%, レポート：10%

[後期]中間試験：20%, 期末試験：20%, レポート：10%

【達成目標】

	達成目標	割合	評価方法
1	「英語モードが身につくライティング」で扱われているライティング項目を体系的に学習する	20 %	前期中間テストの実施
2	「英語モードが身につくライティング」で扱われているライティング項目を体系的に学習する	40 %	前・後期期末テストの実施(各20%)
3	TOEIC対策用英文法を理解できる	20 %	後期中間テストの実施
4	課題解決型の英語課題をこなす能力	20 %	提出課題により評価する

【本校の学習・教育目標】

(E-3) 英語の基礎的な文章を理解し、また英語で簡単な内容を伝えることができる

【JABEE評価】

(f) 日本語による論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力および国際的に通用するコミュニケーション基礎能力

【授業計画】(英語B)

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
1	writing力調査 section 10前半	講師紹介 Writing test I 単文		
2	section 11前半, 12前半	重文、複文1		
3	section 12前半, 13前半	複文1、2		
4	writing力調査 section 10	writing test II essay 1(パラグラフライティングの練習)		
5	section 11後半, 12後半	essay 2, 3(パラグラフライティングの練習)		
6	section 12後半, 13後半	essay 3, 4(パラグラフライティングの練習)		
7	writing力調査 テスト対策	writing test III		
8	Mid-term in 1st half	エッセイライティングテスト		
9-14	section 1-4	ライティングテキストの説明(主語、動詞、形容詞1.2)		
15	期末テスト対策			
16-21	TOEIC対策	TOEICハンドアウトの説明, The Great Gatsby		
22	テスト対策	TOEIC類似形式テスト、前期内容の復習		
23	Mid-term in second half	TOEIC類似形式テスト、前期内容の復習		
24-29	section 8-9	ライティングテキストの説明(時制1.2)		
30	テスト対策			